

第77期

事業報告書

自平成25年4月1日 至平成26年3月31日



 **奥村組**
OKUMURA CORPORATION

証券コード: 1833

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社の第77期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の営業の概況についてご報告申しあげます。

当連結会計年度のわが国経済は、政策効果や消費税率引き上げにともなう駆け込み需要を背景に緩やかな回復が続きました。建設業界においては、底堅い公共投資や民間設備投資の一部持ち直しを受けて受注環境は堅調に推移したものの、資材価格の上昇や技能労働者不足の慢性化などコスト面では予断を許さない状況が続きました。

当社グループにおきましては、売上高は、前期に比べ1.8%減少した193,024百万円となりましたが、土木事業で比較的高採算の工事を売上計上したこと等により、売上総利益は同7.0%増加した15,883百万円となり、営業利益は同73.0%増加した2,317百万円となりました。また、経常利益は貸倒引当金戻入額が減少したこと等により、同6.4%増加した3,789百万円、当期純利益は投資有価証券評価損がなくなったこと等により、同39.9%増加した3,755百万円と前期を上回ることができました。

なお、当期の株主配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に則り、1株当たり普通配当9円とすることにさせていただきました。

わが国経済の先行きは、駆け込み需要の反動により下押しされるものの、政府の経済対策効果や外需の寄与により回復軌道に復するものと見られており、建設業界においては、建設投資が概ね横ばい圏を維持すると予想される一方、資材価格の値上がり基調や技能労働者不足の収束が見通せないことから、安定的に利益を計上するには、なお難しい環境が続くものと思われま

このような中、当社グループといたしましては、平成25年度を初年度として策定した中期3ヵ年計画に基づき、顧客対応力、技術力および価格競争力の強化を通じて安定的な収益を確保し、持続的な発展の礎である経営基盤の強靱化を目指した取り組みを展開しております。

具体的には、建設事業につきましては、建設コストの上昇局面においても、安定した利益を計上できる体質を築いていくことが最重要課題と捉えており、採算性や技術面における優位性等を考慮した選別受注の徹底、総合評価落札方式や民間プロジェクトへの組織的な対応強化、特命受注や設計・施工一貫受注の拡大に向けた企画・提案力の強化、川上段階からの事業協力による単純価格競争の回避、付加価値の向上および省力化や原価低減に繋がる技術の開発などに取り組んでおります。

不動産事業につきましては、適正な利回りを確保できる物件を慎重に選別し、長期的かつ安定的な収益基盤の確保を目指してまいります。

当社は、これからも創業以来貫いてまいりました経営理念を踏襲しつつ、経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応して収益基盤の強化を図り、株主の皆様のご期待とご信頼に応えるべく、全力をあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長

奥村 太加典





業績の推移

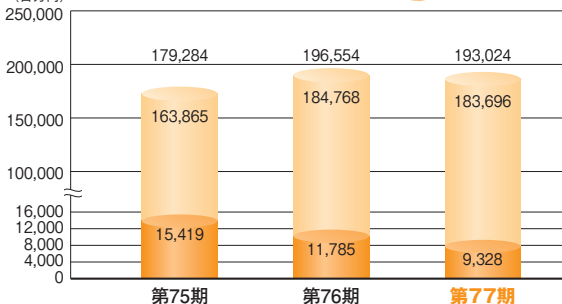
最近3連結会計年度における当社グループの売上高、経常利益および当期純利益の推移

(単位 百万円)

	第75期 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	第76期 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	第77期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高	179,284	196,554	193,024
経常利益	△2,828	3,563	3,789
当期純利益	△2,958	2,683	3,755

売上高

(百万円)

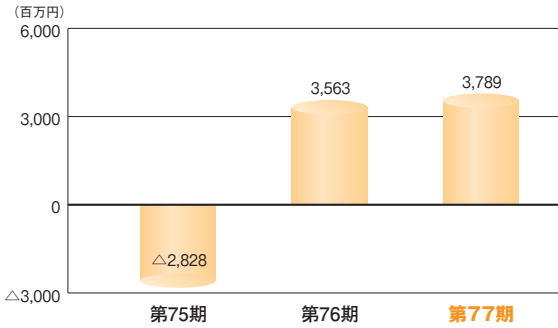


最近3事業年度における当社の受注高、施工高(出来高)および完成工事高の推移

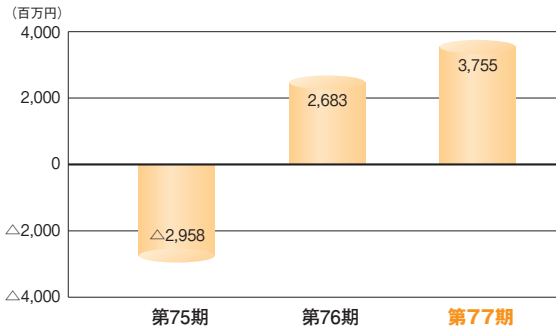
(単位 百万円)

	第75期 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	第76期 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	第77期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
新規受注高	140,039	174,021	220,116
施工高(出来高)	155,657	176,423	183,534
完成工事高	163,865	184,959	184,186

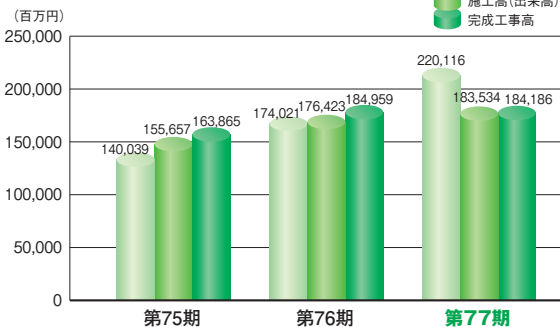
● 経常利益



● 当期純利益



● 受注高、施工高(出来高)および完成工事高





主な完成工事・受注工事

▲ 当事業年度中の主な完成工事



▲ 九州自動車道嘉島工事
(熊本県嘉島町～益城町)



▲ (医) 松崎病院
豊橋こころのケアセンター
(愛知県豊橋市)



▲ (株) 明治関西栄養食工場
(大阪府貝塚市)



▲ 小野浜ポンプ場
築造工事
(兵庫県神戸市)



▲ 関越自動車道
永井川橋耐震補強工事
(群馬県渋川市～みなかみ町)



▲ 九州厚生年金病院別館、
駐車場棟
(福岡県北九州市)



▲ パークナード潮芦屋、そらしまテラス (兵庫県芦屋市)

[表紙] 加古川中央ジャンクションランプ改良工事
(兵庫県加古川市)



▲ 飯倉芝公園管路新設工事
(東京都港区)



▲ 大和大学管理棟
(大阪府吹田市)



▲ サンクタス与野
タワーレジデンス、
サウスレジデンス
(埼玉県さいたま市)



▲ 仙台湾南部海岸中浜工区
坂元地区第2復旧工事
(宮城県山元町)



▲ 仙台市地下鉄東西線
亀岡トンネル他
(宮城県仙台市)



▲ ニトリモール相模原
(神奈川県相模原市)

当事業年度中の主な受注工事

受注先	工事名称	工事場所
中日本高速道路(株)	中部横断自動車道 森山トンネル工事	山梨県南部町
阪神高速道路(株)	新神戸トンネル天井板撤去その他工事	兵庫県神戸市
国土交通省	一関遊水地大林排水施設設躯体工事	岩手県一関市
阪急不動産(株)、住友商事(株)、神鋼不動産(株)	新千里北町第2団地建替事業	大阪府豊中市
生駒市	市立病院建設工事	奈良県生駒市
防衛省	岩国飛行場高校新設建築その他工事	山口県岩国市

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	第76期 平成25年3月31日現在	第77期 平成26年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	141,696	139,864
現金預金	13,448	19,292
受取手形・完成工事未収入金等	98,240	97,253
有価証券	15,000	7,000
未成工事支出金	8,484	7,718
その他	10,915	12,861
貸倒引当金	△4,393	△4,261
固定資産	92,337	99,799
有形固定資産	35,839	37,473
建物・構築物	8,830	9,230
機械・運搬具・工具器具・備品	352	351
土地	26,362	27,669
その他	294	221
無形固定資産	284	237
投資その他の資産	56,213	62,087
投資有価証券	55,591	60,972
その他	3,529	3,883
貸倒引当金	△2,907	△2,768
資産合計	234,033	239,663
負 債 の 部		
流動負債	95,423	93,244
支払手形・工事未払金等	47,488	55,548
短期借入金	16,416	7,524
未成工事受入金	9,145	10,610
その他	22,372	19,562
固定負債	16,686	17,626
長期借入金	4,128	5,208
繰延税金負債	10,333	12,235
その他	2,224	182
負債合計	112,110	110,871
純 資 産 の 部		
株主資本	102,936	104,869
資本金	19,838	19,838
資本剰余金	25,326	25,326
利益剰余金	70,136	72,094
自己株式	△12,365	△12,390
その他の包括利益累計額	18,987	23,923
その他有価証券評価差額金	18,987	22,753
退職給付に係る調整累計額	—	1,169
純資産合計	121,923	128,792
負債純資産合計	234,033	239,663

連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	第76期	第77期
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売 上 高	196,554	193,024
売 上 原 価	181,714	177,141
売 上 総 利 益	14,840	15,883
販売費及び一般管理費	13,500	13,565
営 業 利 益	1,339	2,317
営 業 外 収 益	2,473	1,708
営 業 外 費 用	249	235
経 常 利 益	3,563	3,789
特 別 利 益	7	439
特 別 損 失	734	214
税金等調整前当期純利益	2,836	4,015
法人税、住民税及び事業税	163	307
法人税等調整額	△11	△46
少数株主損益調整前当期純利益	2,683	3,755
当 期 純 利 益	2,683	3,755

連結株主資本等変動計算書

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位 百万円)

	株 主 資 本					その他の 包括利益 累計額	純資産 合計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計		
当期首残高	19,838	25,326	70,136	△12,365	102,936	18,987	121,923
当期中の 変動額							
剰余金の 配当			△1,797		△1,797		△1,797
当期純利益			3,755		3,755		3,755
自己株式 の取得				△25	△25		△25
自己株式 の処分		△0		0	0		0
その他						4,935	4,935
当期中の 変動額合計	—	△0	1,957	△24	1,932	4,935	6,868
当期末残高	19,838	25,326	72,094	△12,390	104,869	23,923	128,792

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	第76期	第77期
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,773	10,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,386	△2,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,378	△9,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	44
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	3,823	△2,098
現金及び現金同等物の期首残高	24,520	28,343
現金及び現金同等物の期末残高	28,343	26,245



財務諸表

貸借対照表

(単位 百万円)

科目	第76期 平成25年3月31日現在	第77期 平成26年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	140,272	138,153
現金預金	13,377	19,158
完成工事未収入金	90,963	92,799
有価証券	15,000	7,000
未成工事支出金	8,484	7,718
未収入金	6,344	7,779
その他	10,477	7,965
貸倒引当金	△4,373	△4,268
固定資産	89,850	96,379
有形固定資産	30,169	31,384
建物・構築物	7,880	7,676
機械・運搬具	157	163
土地	21,897	23,204
その他	233	339
無形固定資産	283	236
投資その他の資産	59,397	64,758
投資有価証券	55,108	60,392
その他	7,220	7,157
貸倒引当金	△2,931	△2,791
資産合計	230,123	234,533
負 債 の 部		
流動負債	94,020	91,165
支払手形	4,607	6,514
工事未払金	42,193	47,858
短期借入金	16,416	7,524
未成工事受入金	9,142	10,564
預り金	10,350	6,068
仮受消費税等	5,162	5,629
その他	6,147	7,005
固定負債	16,628	18,280
長期借入金	4,128	5,208
繰延税金負債	10,302	12,019
その他	2,197	1,051
負債合計	110,648	109,445
純 資 産 の 部		
株主資本	100,478	102,377
資本金	19,838	19,838
資本剰余金	25,326	25,326
利益剰余金	67,678	69,602
自己株式	△12,365	△12,390
評価・換算差額等	18,996	22,710
その他有価証券評価差額金	18,996	22,710
純資産合計	119,474	125,087
負債純資産合計	230,123	234,533

損益計算書

(単位 百万円)

科目	第76期	第77期
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高	192,941	189,737
売上原価	178,763	174,506
売上総利益	14,177	15,231
販売費及び一般管理費	13,162	13,167
営業利益	1,015	2,064
営業外収益	2,616	1,926
営業外費用	249	233
経常利益	3,382	3,756
特別利益	7	438
特別損失	734	212
税引前当期純利益	2,654	3,983
法人税、住民税及び事業税	140	291
法人税等調整額	△25	△29
当期純利益	2,540	3,720

株主資本等変動計算書

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位 百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計		
当期首残高	19,838	25,326	67,678	△12,365	100,478	18,996	119,474
当期中の 変動額							
剰余金の 配当			△1,797		△1,797		△1,797
当期純利益			3,720		3,720		3,720
自己株式 の取得				△25	△25		△25
自己株式 の処分		△0		0	0		0
その他						3,714	3,714
当期中の 変動額合計	—	△0	1,923	△24	1,898	3,714	5,613
当期末残高	19,838	25,326	69,602	△12,390	102,377	22,710	125,087

移動式坑内変位自動計測システムの開発・実用化

山岳トンネル工事の安全性と施工効率の向上を目的に、トンネル壁面の変位をリアルタイムに監視する「移動式坑内変位自動計測システム」を開発し、実工事に適用しました。本システムは、専用車両に搭載した測量機器を用いて壁面変位を自動計測し、中継機を介して計測データを坑外に転送するものです。従来の壁際に測量機器を設置する方式の場合、掘進にともなう測量機器の移設作業に半日程度を要していましたが、車載型に改良することにより15分程度に短縮できることから、壁面変位の計測頻度が大幅に増大し、異常を即座に把握できる監視体制を確立することが可能です。さらには、移設による他工程への影響が最小限に抑えられることから、施工サイクルの効率化にも繋がります。



本システムによる計測状況

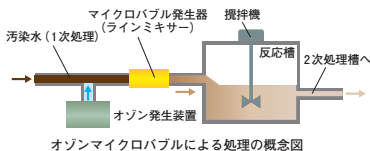
オゾンマイクロバブルを用いた油・揮発性有機化合物(VOC)含有水の高速度浄化技術の開発

汚染土壌の浄化工事や工場での廃油処理作業において、油分や揮発性有機化合物(VOC)を含む汚染水を高効率で浄化する技術を開発しました。

本技術は、油分やVOCに対して優れた酸化分解性質を持つオゾンマイクロバブル(微細気泡化させたオゾン)を連続的に汚染水に供給することにより、浄化能力を飛躍的に向上させたもので、これまで分解処理が困難とされてきた潤滑油やエタン系VOCなどを含む汚染水でも浄化が可能です。また、従来の活性炭吸着処理技術と比べますと、浄化処理に要する日数を大幅に短縮できるうえ、処理過程で産業廃棄物も生じないため、ランニングコストを大きく低減できます。



汚染水処理ユニット



左：汚染水(重油) 右：処理水

超高強度コンクリートを用いたRC柱の開発

50階以上の超高層集合住宅を支える柱部材として、居住性能のさらなる向上に貢献する鉄筋コンクリート(RC)柱を開発しました。

本技術は、超高強度コンクリート(設計基準強度150N/mm²級)を用いたRC柱を鋼板で包み込む、あるいはコンクリート内に鋼繊維等を混入して補強することにより、高い耐震性能および耐火性能を確保しつつ、柱数の削減や柱断面のスリム化を実現し、多様化するニーズに応じた計画自由度の高い居住空間を提供することができます。



「省アンカーアウトフレーム耐震補強工法」の建築技術性能証明を取得

集合住宅等のバルコニーや外部廊下の跳ね出し部に、プレキャストコンクリート製のフレームを取り付けることで、耐震性能を高める補強工法の設計・施工法を確立し、(一財)日本建築総合試験所の建築技術性能証明(GBRC性能証明 第13-30号)を取得しました。

本工法は、新設する補強フレームの接続部材の一部として、バルコニー等の既存片持ちスラブを利用することにより、施工に要するアンカー個数を減らし騒音・振動・粉塵の発生を抑えるとともに工期短縮にも繋がるなど、居住者や周辺環境への影響を最小限にして建物を使用しながら工事を進めることができます。



補強前



補強後

技術セミナー開催

第25回技術セミナーを平成25年12月2日に東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催し、顧客をはじめ各方面から約200名の方々にご来場いただきました。

当セミナーは、建設業に関わる産官学協調の一環として昭和63年から開催しており、今回は「より良い国土を次世代へ引継ぐために～社会資本の整備、維持管理・更新はどうあるべきか～」をテーマとし、(一財)国土技術研究センター国土政策研究所所長・大石久和氏による基調講演のほか、パネルディスカッションでは、平成24年12月に発生した中央自動車道・笹子トンネル天井板崩落事故や度重なる自然災害などを契機として、社会で関心が高まっている社会資本整備や維持管理・更新のあり方について議論が交わされました。



セミナー会場の様子



パネルディスカッションの様子

ホテル近鉄京都駅が「日本免震構造協会賞」を受賞

当社施工のホテル近鉄京都駅が第14回日本免震構造協会賞「作品賞」に選定され、平成25年6月4日に開催された同協会総会において表彰されました。

同賞は「免震構造等の特質を反映した優れた建築物」に贈られるもので、当社としては灯台レンズ用免震装置の「技術賞」、奥村記念館の「作品賞(啓発普及功績賞)」に続く受賞となりました。

受賞にあたっては、既存線路に挟まれた狭隘な敷地(幅13m、長さ200m)において、新設ホーム上部にホテル施設を建設した構造上のさまざまな工夫と、営業線が近接する難工事をなし得た施工力が高く評価されました。

なお、平成24年10月26日、同ホテルは鉄道建築協会賞「佳作」も受賞しています。



ホテル近鉄京都駅

阿波しらさぎ大橋が「土木学会田中賞」を受賞

当社が下部工を施工した徳島市の阿波しらさぎ大橋が平成24年度「土木学会田中賞(作品部門)」に選定され、平成25年6月14日に開催された同会定時総会において表彰されました。

田中賞「作品部門」は「優れた特色を有する橋梁およびこれに類する構造物」に贈られるもので、当社としては平成20年度の「豊島大橋」に続く2回目の受賞となります。



阿波しらさぎ大橋

東日本大震災被災地域支援活動に新入社員を派遣

研修の一環として、平成25年度の新入社員46名を10月23日～25日の3日間、岩手県陸前高田市に派遣し、沿岸部において震災瓦礫の中から行方不明者の手掛かり品を捜す支援活動等を行いました。

支援活動は平成23年から行っており、被災地域の一日も早い復興を願うとともに、建設業の社会的役割や社会貢献の意義を理解して今後の業務や社会生活に生かしていける人材を育成しています。

当社は、今後とも被災地域の復旧・復興に全力をあげて取り組んでまいります。



土砂をふるいにかける様子



分別作業

「公益信託奥村組建設環境技術助成基金」の平成25年度助成先が決定

当社は、建設技術に係る環境負荷低減に関する諸研究を資金的に支援することにより、わが国の環境改善および保全を一層推進していくことを目指し、平成19年に「公益信託奥村組建設環境技術助成基金」を設立しました。

平成25年7月11日に開催された運営委員会（大学教授等の有識者によって構成）において、平成25年度の助成先および助成金額が決定し、当基金より助成が行われました。

助成先の研究テーマは次のとおりです。

- 半閉鎖湾における環境を考慮した防波堤に関する水理模型実験と数値シミュレーション
- 下水汚泥と生ごみの混合消化施設からのバイオエネルギーによる自立・分散システムの検討
- 東日本大震災の被災地における防潮堤と緑地の一体化による景観形成に関する技術検討
- 循環資材の土工利用時における環境安全性評価手法の確立

西日本支社ハルカスオフィス、奈良支店が誕生

平成26年5月18日、西日本支社関西支店および建築設計部は、当社が共同企業体の一員として施工した日本一の超高層複合ビル「あべのハルカス（高さ300m）」に移転し、西日本支社ハルカスオフィスとして業務を開始しました。また同日、奈良営業所は奈良支店に改称しました。

当社はこれを機に一層社業の充実を図り、皆様のお役に立てますよう役職員一同奮起してまいります。



西日本支社ハルカスオフィス



あべのハルカス
(平成26年3月竣工)



会社の概況

創 業 明治40年2月
設 立 昭和13年3月
従 業 員 数 1,893名 (平成26年3月31日現在)
HPアドレス <http://www.okumuragumi.co.jp>
事 業 所 (平成26年6月27日現在)

本 社 〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2
東京本社 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1
技術研究所 〒300-2612 つくば市大砂387
東日本支社 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1
西日本支社 〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2
西日本支社 〒545-6026 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
ハルカスオフィス (あべのハルカス26F)
札幌支店 〒060-0004 札幌市中央区北四条西2-1-18
(邦洋札幌N4・2ビル)
東北支店 〒981-8525 仙台市青葉区堤通雨宮町2-25
東京支店 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1
北関東支店 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4-26-15
(住友生命浦和ビル)
東関東支店 〒260-0028 千葉市中央区新町18-14 (千葉新町ビル)
横浜支店 〒231-0021 横浜市中区日本大通60 (朝日生命横浜ビル)
北陸支店 〒950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 (プレイス新潟)
名古屋支店 〒453-8555 名古屋市中村区竹橋町29-8
関西支店 〒545-6026 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
(あべのハルカス26F)
奈良支店 〒630-8241 奈良市高天町38-3 (近鉄高天ビル)
神戸支店 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2-2-16 (三宮南ビル)
広島支店 〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-7-22
四国支店 〒760-0020 高松市錦町1-8-41
九州支店 〒805-8531 北九州市八幡東区山王2-19-1
福岡支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1-13-8 (九電不動産ビル)
台湾支店 台北市中山区南京東路3段65号7F702室

連結子会社

奥村機械製作株式会社

〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-5-26

営業種目 建設・産業機械器具の設計・製造・販売・修理

太平不動産株式会社

【本店】 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1

【大阪支店】 〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2

営業種目 不動産取引 土地・建物管理



●取締役・監査役

代表取締役社長	奥村 太加典	取締役	小寺 健司
代表取締役	平子 高育	取締役	田中 敦史
取締役	土谷 誠	常勤監査役	竹村 勇二
取締役	高見 一夫	常勤監査役	山内 晃一
取締役	藤岡 誠一	監査役	伴 義聖
取締役	山口 慶治	監査役	辻 一夫
取締役	水野 勇一	監査役	阿部 修二
取締役	齊藤 洸		

(注) 1. 齊藤洸氏は、社外取締役であります。

2. 伴義聖、辻一夫、阿部修二の3氏は、社外監査役であります。

●執行役員

※副社長執行役員	平子 高育	常務執行役員	小林 俊雄
※副社長執行役員	土谷 誠	執行役員	栗田 猛志
副社長執行役員	白波瀬 正道	執行役員	丸山 豊
専務執行役員	飯田 廣臣	執行役員	林 孝憲
※常務執行役員	高見 一夫	執行役員	町田 則幸
※常務執行役員	藤岡 誠一	※執行役員	小寺 健司
※常務執行役員	山口 慶治	執行役員	原田 治
常務執行役員	大石 宏和	※執行役員	田中 敦史
※常務執行役員	水野 勇一		

(注) ※印は、取締役兼務であります。



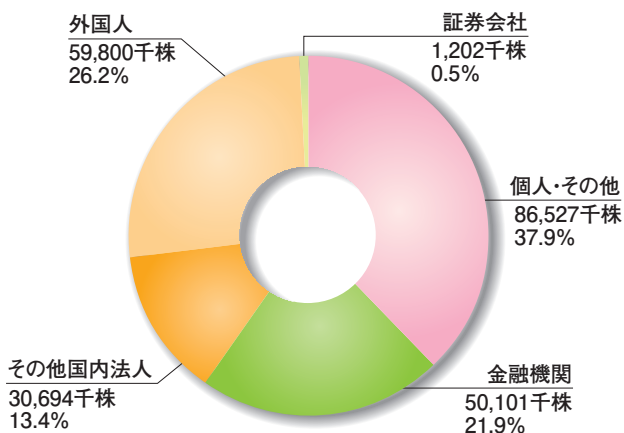
株式の状況 平成26年3月31日現在

発行可能株式総数	480,376,000株
発行済株式の総数 (自己株式28,667,535株を含む)	228,326,133株
株主数	16,982名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	千株 12,918	% 6.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	7,633	3.8
奥村組従業員持株会	7,562	3.8
BBH BOSTON CUSTODIAN FOR BLACKROCK GLOBAL ALLOCATION FUND, INC. 620313	6,202	3.1
株式会社りそな銀行	6,074	3.0
住友不動産株式会社	6,050	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,650	2.8
株式会社三井住友銀行	5,568	2.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,489	2.2
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	4,161	2.1

- (注) 1. 当社は自己株式28,667,535株を保有しておりますが、上記から除いております。
2. 持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

所有者別分布状況





事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主配当金	毎年3月31日現在の株主様にお支払いいたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ (0120) 782-031
定時株主総会	毎年6月開催
公告の方法	当社のホームページに掲載する。

【株式に関する住所変更等の お届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



株式会社 奥村組

〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2

TEL.06-6621-1101

ホームページアドレス <http://www.okumuragumi.co.jp>

